

科目コード	E413
授業科目名	災害事例研究(含演習)
授業科目名(英文)	Case Study for Occupational Accidents(incl. lab.)
講義室等	6206
学科	産業衛生科学科
対象学年	4年
開講学期	後学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎産DP-5・産業衛生総合
該当コンピテンス	◎産CP-8、○産CP-6、△産CP-2
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	庄司 卓郎
授業の概要	事故・災害原因の分析手法を学ぶ。それを基に、グループワークで、労働災害(事故・健康障害)の事例の分析を行い、直接原因、根本原因の解明を試みる。これらを通じて、事故・災害の分析方法を修得し、防止対策立案の手法を身につける。
授業の到達目標(学修効果)	労働の現場で発生する安全衛生上の問題に関して、直接原因だけでなく、根本原因を究明し、再発防止対策を考案できるようになる。 また、そのための事故・災害調査を企画・実施とデータの分析ができるようになる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習15時間
成績評価方法	講義中の演習、小テスト、発表で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	資料を授業において配付
参考書	なし
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.10.8	木	II	化学物質に関連する労働災害事例の分析1	グループワーク・演習	石田尾 徹・庄司 卓郎		
				予習 事前に配布された事例について分析する				
				復習 復習と次回講義資料の分析				
2	R8.10.15	木	II	化学物質に関連する労働災害事例の分析2	グループワーク・演習	石田尾 徹・庄司 卓郎		
				予習 事前に配布された事例について分析する				
				復習 復習と次回講義資料の分析				
3	R8.10.22	木	II	労働災害分析法	講義・グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 今までの学んだ事故分析手法の復習・再確認				
				復習 講義で扱った例題の確認				
4	R8.10.29	木	II	機械システムに関連する災害事例の分析	グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 事前に配布された事例について分析する				
				復習 復習と次回講義資料の分析				
5	R8.11.5	木	II	過重労働に起因する労働災害事例の分析	グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 事前に配布された事例について分析する				
				復習 復習と次回講義資料の分析				
6	R8.11.12	木	II	精神性障害に関わる労働災害事例の分析	グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 事前に配布された事例について分析する				
				復習 復習と次回講義資料の分析				
7	R8.11.19	木	II	各自で選んだ災害事例の分析	グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 災害事例を選んでくる				
				復習 災害事例の分析を進めプレゼン資料を完成させる				
8	R8.11.26	木	II	成果発表とまとめ	グループワーク・演習	庄司 卓郎・石田尾 徹		
				予習 プレゼン資料の作成				
				復習 質問・指摘を受けて自作の資料を見直す				